

MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



30th ANNIVERSARY

2024年4月★第149号

※ MELON 情報紙は、印刷物としての発行は今回が最終号です。詳しくは、最後のページをご覧ください。



仙臺農塾 大人のための食育プロジェクト 「仙台の冬限定・せりのよもやま話」

日 時：2024年2月16日（金）18:30～20:00
会 場：びすた〜り榴ヶ岡（仙台市宮城野区）
参加者：21名
講 師：三浦隆弘氏（三浦農園／MELON 理事）

今回の仙臺農塾は、講師がコーディネートした飲食店にて、地元食材を使った料理を味わいながら「食のサステナビリティ」について学べる講座です。誰もがとっつきやすい「食」という観点から、気候変動や生物多様性などの環境課題について考え、行動することを呼びかけるために開催されました。

参加者の声（アンケートより一部抜粋）

- ・その土地の生態系を豊かにして、そこに育つものを大事に育てるといった考えが印象に残りました。
- ・セリは単体（鍋やおせち）で食べる野菜と思っていましたが、リゾット、オムレツ、ポタージュ…と料理の中にしるばせることで、色々な味や風味が感じられて、愉しいと思いました。



開催レポート



寄稿文



講師の三浦隆弘氏



びすた〜り榴ヶ岡のお料理

MELONとは 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク通称『MELON』。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することでボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - MELONの活動や環境情報を掲載した情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1 仙臺農塾 大人のための食育プロジェクト「仙台の冬限定・せりのよもやま話」
- P2 MELONみやぎSDGs環境アドベンチャー
- P3 MELONみやぎSDGs環境アドベンチャー
- P4 講師派遣報告／部会だより
- P5 かんきょう見聞記／目指せ100人！環境リレートーク
- P6 ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.102
- P7 ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.102
- P8 今後のMELON情報紙に関するお知らせ／MELONフォト／編集後記

公益財団法人
みやぎ・環境とくらしネットワーク
(MELON)
30周年記念事業

MELON みやぎSDGs 環境アドベンチャー

たくさんのご参加
ありがとうございました！

MELON
30周年記念
特設サイト



6/17 土 MELONの人気講話を ぎゅっと凝縮！

参加者の声

いろいろな側面から環境・SDGsの
ことを見ていく必要があることを再
認識したイベントでした。また、ス
タッフの皆さんが丁寧に説明して
くださり、あたたかみのあるイベ
ントでした。ありがとうございました。



第27回 MELON フェスタ (30周年記念トーク)



8/30 水 ワケルくんバスで 行く施設見学会

参加者の声

ごみ分別の考え方が昔のままだった
ことに気付きました。勉強になりました。



ごみのゆくえを見てみよう！
(廃棄されたプラスチックを使って作られたパレット)



10/21 土 美しい海の写真を 見ながら学ぶ海の環境

参加者の声

珊瑚の白化や気候変動が深刻な状況
が良くわかりました。未来の子ども
たちのためにも改善していかなけれ
ばならないと思いました。



海から見る地球 ～気候変動と海洋プラスチック問題～



10/22 日 水環境への理解を深める散策

参加者の声

宮城県のなかで塩竈（当時塩竈町）が仙台市より早くに上水事業を開始したという事実に、とても興味を持ちました。



松島湾・桂島から学ぶ ～雨降石って何だ？～



桂島・津森山の雨降石(アメフリイシ)

11/18 土 身近な樹木に親しもう！

参加者の声

2年連続の参加です。今年も大変有意義でした。講師の方の説明が素晴らしく興味が深まりました。今度は春や冬など違う季節にも開催していただけたとうれしく思います。



七北田公園・木の観察会



11/27 月 鳴子温泉から湧き上がる地熱エネルギーへの期待

参加者の声

- ・日本の地熱ポテンシャルが世界的に見て高いという点が印象に残りました。
- ・地熱発電はCO₂排出量が少ないこと、蒸気・熱水が再利用できるメリットについての説明と鳴子・鬼首での事例報告が興味深かったです。



スパッと鳴子温泉自然エネルギーの取り組みを知ろう！



12/16 土 子どもたちから未来のヒントをもらえるドキュメンタリー映画

参加者の声

みんなに知ってほしい内容だと思いました。小学1年生の子どもも飽きずに見ることができました。大変なことに立ち向かっているのですが、悲壮感なく見られました。演出やメイキングストーリーも好きでした。



マイクロプラスチックストーリー上映会



「みんなで学防災!～親子のための防災講座 災害食と電気の備え～」への講師派遣報告

日 時：2024年3月20日（水・祝）10:30～12:30
場 所：まちづくりスポット仙台（仙台市泉区）
参加者：親子7組（20名）
講 師：佐藤美嶺氏（防災士会みやぎ／日本防災士会／
MELON 理事）
早川昌子（MELON 事務局）
主 催：特定非営利活動法人まちづくりスポット仙台

前半はMELON事務局の早川の講話で「電気の備え」の考え方を学びました。停電時は家電が使えなくなり、複数の家電を同時に使うには大きな電力が必要であり、必要な電気の「勢い」と「量」を知ることがとても重要です。太陽光パネルの発電体験では、雨でUSB扇風機は動きませんでした。初めてパネルを持った子どもたちは、わずかに点灯したLEDに喜んでいました。後半は、防災士の佐藤先生の「災害食」の講話後、アルファ化米を使ったオリジナルレシピをもとに調理し試食。お

やきと雑炊を味わいながら、災害時の食事の重要性を学びました。



電気の備えについて話す早川
(MELON事務局)



太陽光パネルでLEDを点灯し
発電体験



佐藤美嶺氏
(防災士会みやぎ／日本防災士会／MELON 理事)



開催レポート

部会だより～水部会主催「SDGsの視点で水環境を学ぶ入門講座」報告

日 時：2024年3月26日（火）10:20～12:15
場 所：東北工業大学一番町ロビー2階ホール
（仙台市青葉区）
参加者：13名
講 師：石橋良信氏（東北学院大学名誉教授／
MELON水部会）
山田一裕氏（東北工業大学教授／MELON水
部会／MELON理事）

午前は座学、午後は広瀬川での実践の予定でしたが、なごりの雪のため実践は中止となりました。参加者は、MELON水部会、宮城県地球温暖化防止活動推進員、NPOの方など13名でした。

前半は石橋良信氏より、SDGsの基礎知識、SDGsと水の関係、気候変動からみた水不足、水をめぐる紛争など、水をとりまく社会背景について、後半は、河川調査のための基礎知識としての水環境基準、生物学的自浄作用、富栄養化などの解説がありました。続いて、山田一裕氏より、水質調査の実践に向けた具体的な進め方の解説に加え、市民活動としての水質調査の意義についての話がありました。

参加者からは、広瀬川の水質や、マイクロプラスチックが人体に及ぼす影響等に関して質問があったほか、川や湖の水と生き物の関係性への理解が深まった等の感想が寄せられました。



石橋良信氏（東北学院大学名誉教授／MELON水部会）



山田一裕氏（東北工業大学教授／MELON水部会／MELON理事）



開催レポート



冊子化 決定！



2015年7月号から連載をスタートした「かんきょう見聞記」。2024年1月号に第30回を迎え、これまでの記事をまとめた冊子を発行する運びとなりました。

「音楽、特に日本の流行歌や映画、落語などの大衆文化の中でどんなふうに『かんきょう』が顔を出していたのか、いるのかを連載したい」と宣言してしまいました。これまで絵本と同じくらい、たくさんの落語を聞き、映画を見、流行歌に親しんできたのですが、もちろん、対象としている分野はフィクション（作品）も多く、必ずしも直接の「かんきょう」を語るテーマにつながるものは少ないと思います。しかし、場面や歌詞を注意深く見るとポコッと「かんきょう」が顔を出す場合があります。もし、そこをうまく捉えることができれば、生活の中に「かんきょう」という話題をまた「どうぞ」と紹介することができるのではないかと考えスタートした連載でした。



MELON 情報センター長 石垣政裕



目指せ100人！ 環境リレートーク

どんな想いのもとに、どんな活動をしているのか寄稿していただいているコーナー。執筆者に次の方を紹介していただくリレー形式で、環境活動の輪を広げていくことを目的としています。



第92人目の執筆者
亀井 里美さん
(HOMEROASTING7325
COFFEE
／環境活動家)

横浜市の工場とマンション地帯の中で生まれ育ったわたしは自然とは程遠い生活でしたが、両親が夏休みには必ずキャンプに連れて行ってくれたこともあり、山や海で遊ぶのが大好きで得意でした。30代を過ぎるまで全くと言っていい程に環境問題に関心が無く、自然はただ当たり前にあるもの、と思っていました。2011年に原発事故があり、その年に初めての出産を経験し、あれあれ？と思い始め、見えていく景色が変わりました。子どもの存在のおか

げもあり、未来について考えるようになりました。子どもの生きる未来は？そのまた先の世代が生きる世代は？今、地球のどこかにいる誰かの今は？など気候危機により影響を受ける人たちのことを考えたら「環境活動家」を名乗りだしていました！星の王子様で有名はサン＝テグジュペリさんの言葉「地球は先祖から受け継いでいるのではない、子どもたちから借りたものだ。」を胸に、考え続けていきたいです。

情報紙のデジタル化及びコンテンツのリニューアルに伴いこのコーナーは本号が最終回です。

長い間ご愛読いただきありがとうございました！



ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.102

ストップ温暖化センターみやぎとは 宮城県地球温暖化防止活動推進センターの通称「ストップ温暖化センターみやぎ」。2000年にMELONが宮城県知事の指定を受け誕生しました。全国各地の地球温暖化防止活動推進センターは、1998年に制定された「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、地球温暖化防止活動の拠点として、各都道府県知事や政令指定都市等の市長が指定しています。

2023年度「SDGs 環境出前講話」実施報告

環境省「地域における地球温暖化防止活動促進事業」の補助と宮城県の後援を受けて実施してきたSDGs環境出前講話も、2023年度で8年目となりました。延べ199校で実施し、県内各地を訪問しました。

ここ数年はコロナ禍の影響で中止やオンライン開催もありましたが、今年度はすべて対面で行うことができました。キリバス編31校、南極編と気候変動編12校、計43校で実施し、約3,000名の児童生徒が受講しました。

すべての講話にスタッフが同行することにより、講師と学校をつなぐ役目を果たすとともに、講話を聞く児童生徒の皆さんの反応を見ることができました。今年度は、小学生だけでなく中学生や高校生の反応がとてよくて驚きました。

講話を聞くときの表情は豊かであり、キリバス編の場合、前半の生活や文化の話では笑い声が聞こえてきました。後半の気候変動の話題になると、表情が一変して真剣な眼差しでじっと見つめ、メッセージを受け止めていました。中には涙を流す児童生徒も見られました。南極編では、次々と出てくる質問に講師の石井洋子氏が分かりやすく答えていました。先生からも質問が出てきました。気候変動編では、学校からの要請により、講話後にワークショップを行うケースがありました。少人数での実施だったので距離が縮まり、会話をしながら個別に対応することができました。

講話終了時には、調べるための資料として、当センターで作成した小冊子「SDGsと地球温暖化」を配布して、その後の学習を促しました。

キリバス編は感情に訴えて行動を促し、南極編は知的好奇心を高め、気候変動編は自分事につなげていく講話となりました。体験を基にしているキリバス編と南極編は、学年や全校などの大人数にも対応可能であり、気候変動編は講話後にワークショップを行うなど、クラス単位の少人数にも対応可能となりました。

共通することは、深刻な課題を扱いつつも子どもたちに「夢や希望」を与えて、持続可能な社会の創り手を育てることです。次年度は、さらにバージョンアップしたSDGs環境出前講話を行っていききたいと思います。



コミュニケーターチームによる気候変動編～松岩中学校

SDGs 環境出前講話・校種別の推移状況（校）					
年度	小学校	中学校	高校	他	計
2016	10	4	6	1	21
2017	12	3	2	3	20
2018	9	4	2	0	15
2019	9	2	3	0	14
2020	12	1	3	2	18
2021	21	3	2	1	27
2022	30	6	4	1	41
2023	30	9	3	1	43
計	133	32	25	9	199



SDGs 環境出前講話地域別の実施状況 (2016-2023年度の延べ校数)

2023年度「SDGs教育プロジェクト」実施報告

エフピコ環境基金の助成を受けて実施してきたSDGs教育プロジェクトは、2023年度で3年目となりました。今年度は7校から要請があり、計486名の児童の学習を支援しました。学校外部では、新たな二つの企業・団体から相談があり、学校と外部双方の話を聞きながら連携を進めていきました。内容は、相談対応、コーディネート、出前授業、教材の提供、作業の手伝いなど、多岐に渡りました。

《支援した学校・学年》

- ① 芦口小学校5年生「環境・防災」
- ② 長命ヶ丘小学校5年生「地域共生」
- ③ 八木山小学校5年生「気象・防災」、職員「連携」
- ④ 中野栄小学校6年生「キリバスSDGs学習」
- ⑤ 北六番丁小学校5年生「川の環境」
- ⑥ 七郷小学校6年生「まちづくり」
- ⑦ 高森小学校4年生「植物の成長」

《行政・企業・団体等》

推進員コミュニケーターチーム（気候変動）、シンプル&スローライフの会、せんだいE-Action実行委員会（グリーンカーテン）、日本キリバス協会・ケンタロ・オノ氏（気候変動）、まちづくりスポット仙台、ランチ仙台（地域創生）、東北放送 tbc 気象台（気象・防災）、ヤマト運輸（輸送、環境）、東北大学生（スウェーデンのSDGs）

出前授業が1回だけの学校もあれば、継続して支援した学校もありました。学校側に提案は行いましたが負担にならないように配慮し、あくまで各学校の要請に沿って支援をしました。

2月に実施した先生や企業・団体等を対象としたアンケートの結果を見ると、児童の意識や行動の変容では「とても見られた」「見られた」が90%（主に先生たち）、「よく分からない」が10%（主に学校外部の人たち）でした。

意識・行動変容に支援が役立ったといえます。持続可能な社会の創り手の育成では、「つながった」との回答が100%でした。連携については、「状況による」を含めると、すべての企業・団体、学校ともに継続を希望していました。

学校とつながりを持ちたいと思っている企業・団体と、外部と連携して学習を進めたいと考えている学校を引き合わせるにより、連携しながら「持続可能な社会の創り手」を育てることができました。次年度は、さらに賛同の企業・団体を増やして事業継続を図ってきたいと思います。



芦口小学校のグリーンカーテン



講話「スウェーデンのSDGs」七郷小学校

持続可能な社会の創り手を育てる SDGs 環境出前講話× SDGs 教育プロジェクト

個々の活動すべてを
詳しく報告！

「みやぎのSDGs環境学習支援」活動報告

<https://www.melon.or.jp/study/report/>

毎年6月に開催校を募集しています！



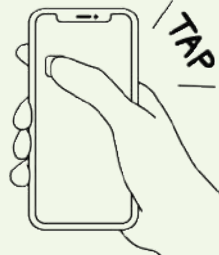
今後の「MELON 情報紙」に関するお知らせ

このたび、紙媒体で発行しておりました MELON 情報紙は、第150号（2024年7月）以降、ペーパーレス化することとさせていただきます、紙面での発行は行わず、ウェブサイト上での公開となります。

団体の目的に掲げる「地域と地球環境を保全して

いくための活動を企画し実践していきます。」の一端として、紙資源及び印刷と配送等にかかる環境負荷の低減と、MELONの活動を持続可能にするためのコスト削減を図るためです。何卒ご理解のほどよろしくお願い致します。

ご寄付・会費のお支払いの際に、
オンライン決済が
できるようになりました



※ Syncable というファンドレイジングサービスサイトにつながります。

<https://syncable.biz/associate/melon>

会費のお支払いに、ぜひクレジットカードをご利用ください！

※ご寄付のみ Amazon Pay もご利用いただけます。

※5年会員の方は、ご利用いただけません。

MELON 情報紙のバックナンバーは MELON ウェブサイトにて PDF で公開しております。



編集後記

■ 昨年に還暦を迎えました。若い頃、職場で還暦の人と言ったら「おじいさん」という感じでしたが、自分もそうなるとは。赤いちゃんちゃんこは着ませんでした。(亀崎)

■ 吉田チーフからプラントベースのチョコレートをおすそ分けしてもらいました。あっさりさっぱりしていて、とても美味しかったです！ 今度プラントベースの食べ物に挑戦してみようかな、と思った出来事でした。(小山田)

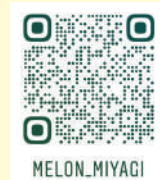
『MELON フォト』



みやぎ生協 白石店 More Coop スペースでのうちエコ診断が終了しました！ 受診された方々の省エネ・節電にお役に立てれば幸いです。



MELON
インスタグラムも
フォローよろしく
お願いします！



MELON_MIYAGI

〈会員状況〉

455名

法人 53

任意団体 7

個人 395

2024年3月21日現在

ボランティアポイントカード制度 をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1ポイント差し上げます。5つ貯まると1,000円分の MELON 協力商品券と交換できます。



MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、(株)日専連ライフサービスで発行している商品券です。金額の一部が MELON に寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用になれます。



この印刷物は、輸送マイルージ低減による CO₂ 削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

発行元 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network
〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F

★事務局 TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5713

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL <https://melon.or.jp>

落丁・乱丁の場合は、MELON 事務局までご連絡ください。

